

## 令和6年度 遊佐町振興審議会第1回全体会議録

■日 時 令和6年 11 月 5 日(火)

■場 所 役場議場 13 時 30 分～15 時 6 分

■出席委員

齋藤勝広、渡会健、池田生子、斎藤勇喜、石垣敏勝、大場清悦、高橋勇、東海林和夫、伊原光臣、佐藤源市、遠田裕子、渡邊宗谷、高橋繁子、谷地由美子、服部正規

■欠席委員

石川茂稔、土門大勇、佐藤仁、佐藤裕士

■町出席者

松永町長、池田副町長、土門教育長、鳥海総務課長、太田産業課長、太田地域生活課長、渡部健康福祉課長、伊藤町民課長、荒木教育課長、土門議会事務局長、本間財政係長

■事務局

渡会企画課長、企画課企画係 佐藤係長、企画係主任 瀧口

### 1、開会

(企画課長)

欠席者の報告を行う。遊佐町婦人連絡協議会解散により、真嶋委員が退任され委員総数が 20 名から 19 名となった旨を報告する。19 名中 15 名の出席により、遊佐町振興審議会条例により会議が成立していることを報告する。

### 2、委嘱状交付

(企画課長)

農業委員会からの推薦者について、齋藤勝広委員へ変更したことを報告し、町長から委嘱状交付を行う旨を説明。

町長から齋藤勝広委員へ委嘱状交付を行う。

### 3、町長挨拶

(松永町長)

建設審議会がこの審議会の以前の形で発足したのが昭和 40 年。当審議会は 59 年の長い歴史となっている。忙しい方たちばかりなのは承知しているが皆さんのお知恵をお借りしたい。若い人、シニアの方たちからもまちづくりに参画してもらいたいと考えている。本日は町の今後に関する様々な方針を皆さんにお示ししたい。7 月の水害でつらい思いをした方々もいる。今後水をブランディングして売り出したいと思っており、おいしい水でいれるお茶、コーヒーなどを楽しみにして頂きたい。

#### 4、会長挨拶

(企画課長)

会長である渡邊宗谷委員へ挨拶を求める。

(会長)

1年ぶりの参集となった。新しく委員になられた齋藤委員からもお力添えをいただきたい。本日鳥海山がとても美しく、これから紅葉が見頃になってくる。今年は災害があつたが100%と行かないまでもなんとか無事に米の収穫の秋を迎えられたこと、またこれから遊佐町の農産物も収穫できていくと思う。実りの秋とゆつくりとした新年を迎えられればと思う。

7月の水害では、自宅がかなりダメージを受けた。災害などで心が折れてしまうと言うが、心が枯れてしまったような心境だった。町内でも言葉では言い尽くせない傷を負った方もいると思う。委員の皆さんからも声かけまで行かないまでも、心を寄せて頂きたいと思う。大きな災害があり、今後はPAT建設などが進められようとしている。英知を結集して遊佐町の明るい明日を築けるような議論ができればと思っている。

#### 5、会議録署名委員の指名

(企画課長)

会議録署名委員は会長より指名する旨を説明する。

(会長)

会議録署名委員に、谷地由美子委員、服部正規委員を指名する。

(企画課長)

全体会、部会の会議録や資料は役場HPに掲載し公開する予定であることを報告。委員の発言内容は「委員」と表記する旨をあわせて説明。

#### 6、諮問

(企画課長)町長より会長へ諮問を求める。

(町長)諮問書を読み上げ会長に手交する。

(企画課長)町長は公務のため退席することを報告。

#### 7、協議

(企画課長)

協議の進行は会長であることを説明する。

(会長)

協議(1)第8期実施計画の実施状況について、事務局に説明を求める。

(事務局)

資料1、資料2は事前配布しているため説明は省略することを説明する。

(会長)

委員からの質疑を求める。

(委員)

- ・資料1P4 危険空き家対策について、条例を整備し進めるというような話だったがその状況が経過報告書から読み取れない。今の状況はどうか。
- ・管理不全空き家について、7月の水害ではどのような対応を行ったのか。
- ・あわび陸上養殖事業について、「実証事業」ではなく「養殖事業」になっている。従来赤字で大変だという意見も町民からあったが、なぜ実証事業から養殖事業という位置づけにしたのかその検討経過について伺いたい。

(総務課長)

条例改正の部分については、空き家等の適正管理に関する条例を指しているものと思うが、一部改正に向けてこれから関係者を集めて検討会したいと考えている。それに基づき町の主導で解体を勧告できるような方向にもっていく。現在条例改正には至っていない。管理不全空き家について、所有者が空き家を解体したいという結果に基づき相談を受けたり、解体に対する補助を行っている。今回の水害で、どの程度管理不全空き家が増えているのか実態としては把握していない。

(産業課長)

養殖事業に関して令和5年度まで実証事業ということで進めてきた。年間の出荷個数、飼育方法がしっかりとできてきたというところで、令和6年度から3年の事業計画を策定した。試験的な販売を行ってきたが、これから販売を拡げていき鳥海あわびのブランド化、地域の経済発展に繋げたい。今年度4月当初から総合交流促進施設(株)の第5事業部と連携し、販促活動を行っている。夏場の飼育が困難な中、夏前に販売できるような形で販売してきた。3カ年事業計画に関しても赤字になるということなので、本来であれば事業計画策定前に経済波及効果を示すべきところ遅ればせながら10月に補正予算に計上し、経済波及効果の調査を行っている。その結果を見た上で、今後の方向性を見極めていきたい。

(委員)

空き家に関して、水害、災害時の対応として管理不全空き家に関しては、個人の財産権を優先せざるを得ない。特定空き家の法律に基づく条例整備を行い、進めて行ってほしい。あわび陸上養殖事業に関しては、経済波及効果などの資料を示したうえで実証事業から本格事業へ発展するべきと考える。感想のため答弁は不要。

(会長)

空き家の条例の改正に関し、これからというのは今年度中の条例改正なのか、もっと長いスパンでの話か。

(総務課長)

今年度は関係課を参集し検討会議を開催する。その検討結果に基づき進めていくということ。

(会長)

他に質疑がないか確認する。委員からの質疑がないため、質疑を終了する。

協議(2)第9期実施計画(案)及び財政計画(案)について事務局に説明を求める

(事務局)

資料3、資料4、資料5、資料6に基づき説明する。

(会長)

委員からの質疑を求める。

(委員)

資料2の質疑の時間がなかったため、資料2に関する質疑をしたい。

水製造プロジェクトについて1本150円で水は500mlか。町の特色を表す水としてなぜ価値を見出せるのかの説明がなく疑問に感じた。

選択と集中という言葉はあるが、実際の予算・計画を見るとそのように見受けられない。去年の振興審議会でも財政規律について触れている。人口が減る中で、同じような事業を続けていくことは大変。公共施設の維持管理を洋上風力の地域振興で活用方法を求めていくことも考えて行けば、全町の地域振興につながるのではないか。

(会長)

資料2に戻ることになるが、水プロジェクトに関するものということで回答をお願いしたい。

(産業課長)

水製造プロジェクトは10月定例議会で議決をいただいた事業である。昨年度から産業課と総合交流促進施設(株)とで協議を行い検討してきた。以前から町で水を買ってはとの声があったが、民間企業でとの考えのもと町が直接水を作ることは着手していなかった。今後ふるさと納税を含めた町のPRをする上で、やはり町の売りは水だろうということで町で作るという検討を続けてきた。まずは試験的に製造してみて、利益を求めるといよりもPRをしてそれに付随するような効果を期待している。まずは5,000本。今後販促を行い目途がつきそうであれば製造本数を増やしていきたい。販売単価については小ロットであり500mlで150円と高いかもしれないが、実証として進めていく。

(委員)

八幡の地下水をボトルにするということか。

(産業課長)

水は町の水を製造業者に運んでボトル詰めにする。

(委員)

150円で買う方はなかなかいないのでは。会議やイベントで使うことになると思うが、そのような利用にお金を使っていいのか。事業ありきでお金を使うのではなく、他の方法で水をPRしてはいかがかと思う。意見のため答弁は不要。

(委員)

資料3の3つの将来像に関して、危機感を感じているのが出生数がかなり落ちているということ。子供たちという前に、出生数を増やさないとだめなのではないかと感じている。こどもたちの未来像を考える前に根本的な生まれるこどもが少ない所に取り組まないといけな。こどもの出生とい

うところを盛り込んで感じた。

企業としても、子どもを育てやすいような補助や育児休暇など若い方が産み育てやすい環境を整備する必要がある。行政としてもそういった所を積極的に支援していただきたい。

(会長)

町で絶対的な特効薬を見つけるのが難しい。国の子ども家庭庁などの施策の展開も期待する。

(委員)

子どもたちの学校給食の件で、給食費半年間全額補助ということだが、3カ年とも半年。年間を通じて無料ということはしないのか。

(教育課長)

財政とも協議し、年間 5,000 万円かかる場所の財源をどうするかが非常に問題。財源確保の見通しが見つからない中で今の計画では半年ということにしている。無償化というよりは負担軽減という立場で子育て支援、教育の充実、食育推進に繋げていきたい。

(委員)

来年度、再来年度も 1/2 か。町政座談会では、給食費の無償化を公約に掲げていた。来年度再来年度は全額補助でお願いしたいので、財政当局の努力をお願いしたい。

(委員)

水製造プロジェクトに関して、水を運搬することだが水源はどこなのか。湧水の里という名前で売り出すのか。農協に湧水の里遊佐という法人名があり同じになってしまう。また、何トンの水を運ぶのか。

(産業課長)

大楯浄水場の井戸からくみ上げて、町の給水車で運ぶ予定。7回くらい運んで 5,000 本作る計画。商品の名前は別になる。デザイン、ラベル案などは現在検討中。年内に製造して販促活動を行いたいと考えている。

(委員)

仕事柄飛行機に乗る機会が多いが、羽田でも富士山の水などいろんなものが自販機で売っている。ペットボトルの材質なども検討材料に入れてもらいたい。見た目、デザインで買うと思うので、成功してもらいたいと思っている。

(委員)

町に酒蔵が2箇所ある。仕込み水というのがのどごしがいいが、殺菌などの費用がかかるらしい。そういったものの検討があってもいいのではないかと思い発言させていただいた。

(委員)

学校給食費の無償化について、杉の子幼稚園が認定幼稚園になってから 10 年になる。以前は幼稚園ということで学校教育部門の範疇だったが今は多くの補助金等をいただき給食に配慮してもらい感謝申し上げたい。出生数がどんどん減っていくということで、私学の場合補助金で園の運営をせざるを得ない中で、人件費・物価高騰の中で園としてもとても厳しいものがあり、認定子ども園の給食費についても検討に入れていただけないかということで要望したい。

(会長)

幼保小中高と境目のない教育が掲げられているので、是非考慮に入れていただきたい。

(委員)

水害で六日町は多大な被害を受けた。水害で町内から出られる方たちの情報などは持っているのか。被災者への手厚い支援をしているとは思いますが、町内へ別の住居を求める方への支援もお願いしたい。

(総務課長)

人数に関しては、具体的に把握はしていない。避難していた方が、住んでいる場所に住めないということで、転出するという方がいたのは把握している。

(会長)

その他部会でも関連した質疑は可能なため、質疑はここまでとしたい。協議(3)総合発展計画と総合戦略の一体化について事務局に説明を求める。

(事務局)

資料7に基づき説明する。

(会長)

今後の一本化に関するスケジュールの説明ということで良いか。委員からの意見を求める。質疑はないため、協議を終了し、進行を事務局に戻す。

(企画課長)

休憩を挟み、各部会を行う旨を説明し、全体会を終了する。

終了時間 15 時 6 分。